

雅楽の音色に魅了!

松尾地区で演奏会開催

4月30日に松尾町琴平地区の区民館で、雅楽の演奏会が開かれました。

区民館に隣接する金刀比羅神社には、古く雅楽に用いる^{しょう ひちりき}笙や篳篥などの楽器はあったものの演奏する人も無く、眠ったままになっていました。今回、宮司の萩本さんが地域の人に知ってもらおうと企画したもので、50人以上の皆さんが参加しました。

5世紀以降、朝鮮半島、アジア全域を源としてもたらされた雅楽は、日本古来の音楽に比べ、派手できらびやかなものでした。平安期には現在の形が整理されており、以来京都や奈良、大阪の大寺社で伝承されてきました。

雅楽を披露した玉前雅楽会の皆さんから、参加者が実際に手に触れられるよう操作方法を教わる

など、終始和やかな演奏会となりました。神楽の里として知られる松尾地区では神楽などで笛を吹く方も多く、20年以上横笛を吹いているという男性は「口に力が入ると音が出せないのもむずかしいです。時間があれば習ってみたいですね」と平安の昔の音色にすっかり魅了された様でした。

神社ではこれを機会に興味や関心をもたれた方には今後、講習会を開催したいと話しています。



雅の音色を響かせる玉前雅楽会の皆さん



ちょっとお口を開けてみせてね

よい歯は心がけが大切

よい歯のコンクール

5月15日、松尾IT保健福祉センターで、口腔衛生の正しい知識の普及と健康増進を目的に、「よい歯のコンクール」が行われました。

診察した掘角歯科の先生は、診察する度その人にあった治療方法を丁寧に説明。親子の部で参加のお母さん方は、真剣に先生の話しを聞いていました。

また、診察後は先生から、「むし歯は、食べ物の影響が一番大きいです。これからの季節砂糖の入ったドリンクを水代わりに飲むと、糖分の取りすぎになるし、大人はメタボリックの影響もでてきますので、注意しましょう。また、歯並びを気にする方が多いようですが、硬いものを噛めばいいのではなく、噛む回数が大切です。まず姿勢を正して食べるのが大切です」と参加者に呼びかけました。

■親子の部入賞 ^{わたなべ み え こ} 渡辺 三枝子さんと ^{ななみ} 七海ちゃん 3歳



市の歯科健診が行われる時は、必ずフッ素を塗布してもらっているくらいで、特に気をつけてはいません。寝る前は自分で磨いて、その後仕上げ磨きをします。もしむし歯ができてしまったら、すぐ歯医者さんに行こうと思っています。

■高齢者入賞 ^{いづち みつお} 井土 光生さん 81歳



特別な意識はしていませんが、1日3回必ず歯を磨きます。口の中に糖分があってはいけないと思うので、間食はしません。果物など食べたい時は、食事の時に食べます。若い頃は、常に歯ブラシセットを持ち歩いていました。